

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 全学的な国際交流プログラムへの学生の参加を促す。	→「全学的な教育プログラムに基づいた国際教育・協力の基本方針の学部構成員への開示」「学生へのPR活動と個別相談の実施」	B	C	C		
2. 教員の国際的な教育研究交流を促す。	→「学生へのガイダンスなどでの説明機会の頻度」	C	C	B		
3. 国際理解に関する学部開講科目「多文化共生教育」「国際理解」などの履修を学生に奨励する。	→「教授会メンバーの国際的な教育研究交流の頻度」「多文化共生教育」「国際理解」の履修者数	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	1年生は体験実習Ⅰが9月の初めから始まり、2年生は施設実習Ⅰが1月末から始まるというように、保育士、教員を目指す学生の多い本学部では、実習前や実習中に行われる海外研修への参加を積極的に促してはいる。しかし、参加を強く希望する学生には実習期間を配慮するなどの対応はしている。
目標2	学部として、積極的に国際交流を促すことはなかったが、教員が海外出張を申請した件に関しては、すべて承認された。2011年度の国際学会への参加は2件、調査研究は12件であった。このように、教員の国際学会参加や研究者交流、学術調査が年々増えている傾向から、教員が国際交流しやすい環境が整っていていることが考えられる。
目標3	短期の海外研修に参加する学生も増加傾向にあった。その理由として、教育学部は長期休暇中に学外実習があり海外研修プログラムに参加しにくいと学生に思われがちだが、学部創設から3年を経過し海外研修への参加実績もできてきたことが影響していると考えられる。「多文化共生教育」は21名、「国際理解」は82名であった
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学部】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	/	/	—	—	—	—	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	/	/	—	—	—	—	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	/	/	—	—	—	/		
		外国人留学生	正規	人	/	/	1	2	2	2	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	/	/	—	—	—	/	・累計数 ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	/	/	0.3	0.3	0.2	0.1	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	/	/	0.0	0.0	0.0	/	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	/	/	—	—	—	/				
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	/	/	—	—	—	/	累計数	
		人数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	/	/	2	5	8	/	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	/	/	0.0	0.0	0.0	/	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
短期	%		/	/	0.6	0.7	0.8	/			
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	6	16	14	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	/	/	4.9	2.5	2.5	2.4	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)